

Quarterly

HeadLine

宇宙から発送電

Vol. 8

2015 夏

多様な企業活動が社会を救う

介護保険の現状と将来

社会人ラグビー

まちの未来を創る「家」

コンパクトシティ（三条市／小田原市）

被災地のスーパー医師



直言

多様な企業活動が社会を救う

リコー経済社会研究所 所長
 (株)リコー 取締役 専務執行役員 稲葉 延雄

3

太陽電池

巨大太陽電池で宇宙から発送電
 究極のクリーンエネルギー

環境・資源・エネルギー研究室 研究員 飛田 真一

4

経済統計の謎を解く

高齢化社会のセーフティーネット
 介護保険制度の現状と将来

経済研究室 主任研究員 清水谷 諭
 聞き手 RICOH Quarterly HeadLine 編集長 中野 哲也

7

ヘッドライン

営業マンとラグーマンを両立
 ラグビーW杯出場を夢見る大川創太郎

環境・資源・エネルギー研究室 研究員 清水 洋岐

10

まちの未来を創る「家」

RICOH Future House
 経済研究室 研究員 倉浪 弘樹

12

コンパクトシティが地方を救う（第4回）

三条市（新潟県）／小田原市（神奈川県）

社会構造研究室 主席研究員
 RICOH Quarterly HeadLine 編集長 中野 哲也

13

潜望鏡

トリプル被災地を駆けめぐるスーパー医師

社会構造研究室 主席研究員
 RICOH Quarterly HeadLine 編集長 中野 哲也

18

表紙写真 岩手県遠野市で
 (株)リコー 代表取締役
 会長執行役員
 近藤 史朗
 PENTAX 645Z



第8回 多様な企業活動が社会を救う

リコー経済社会研究所 所長
 (株)リコー 取締役 専務執行役員 稲葉 延雄

企業は、企業価値の増大を通じて株主を満足させるだけでなく、多様な活動を通じて経済社会の進歩に貢献する能力を有する。また、そのことが強く求められている。

企業は財・サービスの生産・販売を通じて、人々の需要を満たし、日々の生活を豊かにすることに貢献してきた。その過程で雇用機会の拡大を実現し、人々の生活の将来不安を軽減することにも努めてきた。企業活動の最終結果として、収益の拡大と企業価値の増大が株主を満足させてきたことは言うまでもない。

しかし、企業活動に求められていることは、こうした狭い領域にとどまらない。例えば現在、財政再建をめぐる、社会保障費とりわけ医療費の増大が大きな問題になっている。無駄使いをしていないということであれば、医療サービスのレベルを落とし続けるか、増税を繰り返すしかないが、それではキリがない。こう人々は考えるから、議論がいつも空回りする。

望ましい方策は、企業の創造的な力によって、医療サービスの単価を引き下げていくことである。企業は、自動車や液晶テレビの例が示すように、より高性能な財・サービス生産を目指しつつ、同時に生産性の向上努力により価格を引き下げてきた。難病治療や重介護だからといって、サービス単価の引き下げ努力をあきらめるわけにはいかない。相応の能力を有する一般企業は、この問題の解決のための戦列に加わるべきである。一般の財・サービス分野でできるのに、医療サービス分野でできないはずがない。

環境面でも、企業は世界的な二酸化炭素（CO₂）削減に貢献できる。その削減をめぐる政府間の削減交渉がいつも難航する。しかし、実際にCO₂削減に向けた技術開発や、削減を実現する財の生産、さらにはシステムの運行を担うのは、企業部門においてほかにはない。政府部門も家計部門もエネルギー節約を強化する以外、特別な手段を持っていないからだ。技術力と組織力を有する企業のこの面での貢献が、世界的なCO₂削減の成否を握っているのは明らかである。

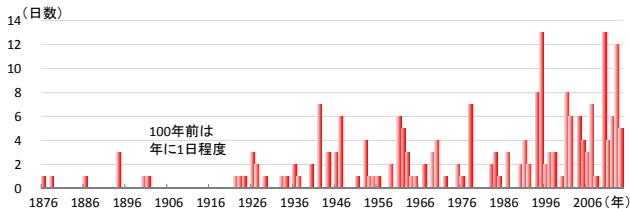
企業活動の目的は、「企業価値の拡大を通じた株主への貢献に尽きる」と経営学は教えている。しかし、およそ組織の使命というものは、単一目標を達成すればよいというわけではなく、複数の相対立する目標を矛盾なく実現することを求められる。また、こうした多様な目標を同時にバランスよく達成することこそ、優れた経営というのであろう。企業が多様な活動を積極的に進めることにより、諸問題を解決し、社会を救っていかねばならない。

巨大太陽電池で宇宙から発送電 究極のクリーンエネルギー

環境・資源・エネルギー研究室 研究員 飛田 真一

太陽が燦々（さんさん）と照りつける夏がやってきた。100年前の東京では1年1日程度だった猛暑日（最高気温35℃以上）が、最近は10日を超える年もある。二酸化炭素（CO₂）など温室効果ガスの増加に伴って地球温暖化が進行し、その影響とみられる異常気象が世界中で深刻化している。今回は、化石燃料を再生可能エネルギーに代替し、温室効果ガスを大幅に削減する太陽電池の最新動向をレポートする。

猛暑日の推移（東京）



（出所）気象庁調べ

直径1kmの巨大太陽電池を宇宙に浮かべると…

代表的な再生可能エネルギーの一つに太陽電池がある。化石燃料を使わずに発電が可能であり、その際にはCO₂を全く排出しない。直径1kmもある巨大な太陽電池を宇宙空間に浮かべて電気を起こし、それを地球に向けて送電できれば…。こうした壮大なプロジェクトが宇宙航空研究開発機構（JAXA）主導で進められている。これが「宇宙太陽光発電」である。

太陽電池を常に太陽光が当たる軌道に浮かべれば、曇りになる心配はないし、地球が夜間でも電力供給が可能となる。

また、宇宙から無線伝送で運ぶ電気は密度が高いため、それを受ける地球上の施設（受電部）は現行の太陽電池より小さくて済む。宇宙太陽光発電ならば、100万kW（原発1基分相当）の受電部の面積は8km²程度。これに対し、現行の太陽光発電で同じ発電量を賄うには、山手線の内側面積に匹敵する58km²の敷地が必要になる（九州電力の試算）。

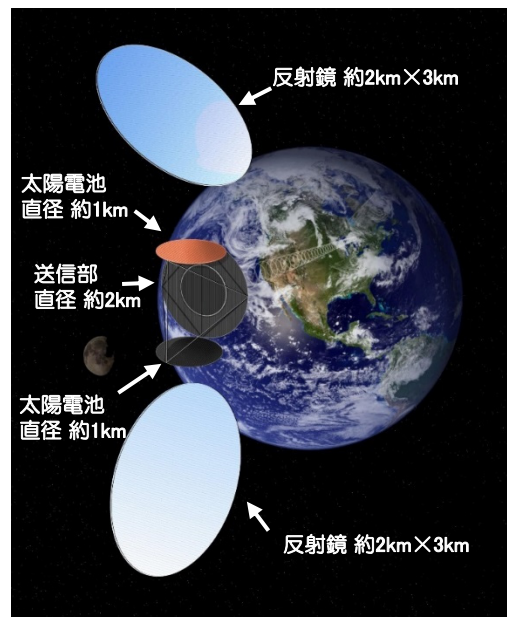
JAXAは今年3月、太陽光発電の実用化に向け、その第一歩となるエネルギー無線伝送の実証実験に成功した。

しかし、宇宙太陽光発電の前途には高いハードルが待ち受けている。100万kWの送信部は6km²に及び、7万人が暮らしている埼玉県蕨（わらび）市の面積（5.1km²）より広くなる。こうした巨大構造物を軽量化し、しかも「折り紙」のように小さく畳んで輸送するため、宇宙空間で広げる技術が不可欠になる。

宇宙太陽光発電は「究極のクリーンエネルギー」とも呼ばれるが、電気料金が高価になってしまえば実用化は難しい。とりわけ「折り紙」にして宇宙に輸送するコストが膨らみ、使い捨てのロケットを利用すると7.5兆円を要するとの試算もある。

このため、JAXAは複数回使用できる宇宙輸送機の活用により、輸送コストを数十分の一レベルに引き下げようとしている。過去の試算によると、100万kWの宇宙太陽光発電で建設コストが1兆2000億円程度という目標値を設定している。

宇宙太陽光発電の仕組み



（提供）JAXA

下表は、そのコスト目標の内訳である。この目標を達成できれば、宇宙太陽光発電は既存の主な電源より発電コストが安価になる可能性がある。ただし、その実用化にあたっては宇宙への輸送手段の確保などの課題も多く、現時点では2040年以降を想定している。

宇宙太陽光発電100万kWのコスト目標

| 項目 | 費用 |
|----------|----------|
| 宇宙設備 | 6758億円 |
| 宇宙設備の輸送費 | 2975億円 |
| 地上設備 | 2033億円 |
| 合計 | 1兆1766億円 |

(出所) 「JAXA SSPSコストモデルによる宇宙太陽光利用システムの経済性評価」
宇宙科学技術連合講演会講演集49th (2005年)

各種発電コストとの比較

| 電源の種類 | 発電コスト(kWh) |
|------------------|------------|
| 宇宙太陽光 (コスト目標達成後) | 8.6円 |
| 原子力 | 10.3円以上 |
| 一般水力 | 11.0円 |
| 太陽光(住宅) | 12.5~16.4円 |
| 太陽光(メガソーラー) | 12.7~15.6円 |
| 石炭火力 | 12.9円 |
| バイオマス(混焼) | 13.2円 |
| LNG火力 | 13.4円 |
| 風力(陸上) | 13.6~21.5円 |
| 地熱 | 16.8円 |
| 石油火力 | 28.9~41.7円 |
| バイオマス(専焼) | 29.7円 |
| 風力(洋上) | 30.3~34.7円 |

(出所) JAXAや経済産業省などの資料に基づき筆者作成

研究開発の責任者であるJAXA研究開発部門の宇宙太陽光発電システム(SSPS)研究チーム長・大橋一夫氏は次のように語る。「資源を輸入に頼る日本が、宇宙空間で安定したエネルギー源を獲得すれば、地政学リスクを減らすことができる。決して容易なプロジェクトではないが、宇宙太陽光発電の開発を通じ、宇宙という未知の世界で人類の活動領域を劇的に拡大したい」



JAXA 研究開発部門
(SSPS) 研究チーム長・大橋一夫氏
(写真) 平林佑太



HIIロケットの打ち上げ
(提供) JAXA



左からHII、HIIA、HIIBロケット
筑波宇宙センターで
(写真) 筆者



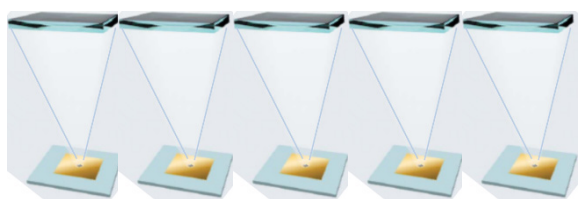
宇宙太陽光発電システムのイメージ
(提供) JAXA

太陽電池

発電効率2倍でもコスト半分の太陽電池

宇宙太陽光発電は夢が膨らむ壮大なプロジェクトだが、実用化にはまだ長い時間がかかりそうだ。このため、東京大学では現行の太陽電池の発電効率を2倍に向上させる一方で、発電コストは2分の1に抑えるという「超高効率太陽電池」の研究が進められている。

この太陽電池は数千個ものレンズを使って太陽光を集めるため、電池の受光面積を大幅に減らすことができる。受光面積1に対して400倍のレンズを使うと極めて高い発電効率を示すという。



レンズで太陽光を集光するイメージ
(提供) 中野義昭教授

太陽光はプリズムで虹色に分けられるように、様々な波長が含まれている。ところが、太陽電池はその種類ごとに、効率よく変換できる波長が異なる。例えば、赤の吸収が得意な電池があれば、青の吸収が得意な電池もある。だから、種類の異なる複数の電池を積み重ねれば、現行電池の2倍以上の超高効率が実現するという。

この超高効率太陽電池を研究している、東京大学大学院工学系研究科（電気系工学専攻）の中野義昭教授に話を聞いた。

「様々な太陽電池を一枚に積層する技術は極めて高度なものであり、主に日本、米国、ドイツの3カ国で熾烈な競争が繰り広げられている。低コスト化も進んできているが、工事費を含めると現行の太陽電池に比べて約1.5倍のコストがかかる。しかし、将来は現行の半分に引き下げられるよう研究に取り組んでいる。そして、太陽電池生産で再び日本が世界一に返り咲く日がやって来る」

地球温暖化対策の数値目標として、日本は2050年までに温室効果ガスの80%削減を掲げている。宇宙太陽光発電や超高効率太陽電池が実現すれば、日本だけでなく世界各国の温室効果ガス削減に大きく貢献する。太陽電池分野でも、「メイド・イン・ジャパン」の逆襲に期待したい。



東京大学大学院工学系研究科（電気系工学専攻）の中野義昭教授（写真）平林佑太



超高効率太陽光発電のイメージ
(www.concentrix-solar.de)



© iStockphoto.com/RISB

高齢化社会のセーフティネット 介護保険制度の現状と将来

経済研究室 主任研究員 清水谷 諭

聞き手 RICOH Quarterly HeadLine 編集長 中野 哲也

—日本の公的介護保険制度の仕組みを説明してください。

公的介護保険制度は、一言で言えば、高齢者の介護負担を家族だけに任せるのではなく、社会全体で負担するための仕組みとして導入されたものです。

戦後、日本人の寿命は大幅に伸び、今や国際的にトップクラスであり、特に女性は世界一です。長生き自体は望ましいことですが、同時に高齢者介護が深刻な社会問題となってきました。認知症の問題を扱った有吉佐和子の「恍惚の人」がベストセラーになったのは1972年ですから、もう40年以上も前のことです。いったん自分のあるいは義理の両親などが要介護状態になると、家族にとっては余りに過酷な負担となります。これまでも「介護地獄」といわれるような悲惨な状況が、マスコミでも繰り返しとり上げられてきました。

同時に、戦後の日本では核家族化が進み、単身世帯も増加しました。そうなる介護が必要になっても、誰も世話をする人がいません。身寄りのない要介護者は、病院以外に行き場がないのです。すると、治療する必要がなくても、長期入院をしなければなりません。老人医療費の自己負担が軽かったこともあり、こうした「社会的入院」が急増しました。それが医療費を押し上げる要因の一つと指摘され、1980年代以後、社会的入院をなくすために幾つかの大きな改革が行われました。その過程で生まれてきたのが、現在の公的介護保険制度の原型です。

公的介護保険制度は、国民健康保険制度のように、加入者から徴収した保険料と税金で財源を賄う社会保険方式を導入しています。それによって、介護が必要になった時に一定の自己負担で介護サービスを受けられるようにする仕組みです。「介護の社会化」と言われるように、老後の最大の不安である介護のリスクを国民全体で負担しようというのが（成功しているかどうかはともかく）介護保険制度の目的です。

—国民には介護保険に加入する義務があるのですね。

そうです。40歳以上になれば加入する義務があります。被保険者（＝保険の対象となる人）は第1号被保険者（65歳以上）と第2号被保険者（40～64歳）の2種類に分かれます。介護サービスを受けられるのは、原則として第1号被保険者だけです。しかし、介護保険料は、第1号でも第2号でも被保険者であれば払わないといけません。壮年世代にとっては、自分の家族が要介護状態にならない限り、当面は支払うべき介護保険料に関心が向きがちでしょう。

被保険者を40歳以上に限定する点は、自営業者などが加入している国民健康保険とは異なります。また、介護保険の財政が苦しいということもあり、40歳からではなく、もっと若い世代（例えば20歳～）も負担すべきだという意見もあります。

—国民年金の保険料はどこに住んでいても定額です。一方、介護保険料はなぜ住んでいる市町村によって異なるのですか。

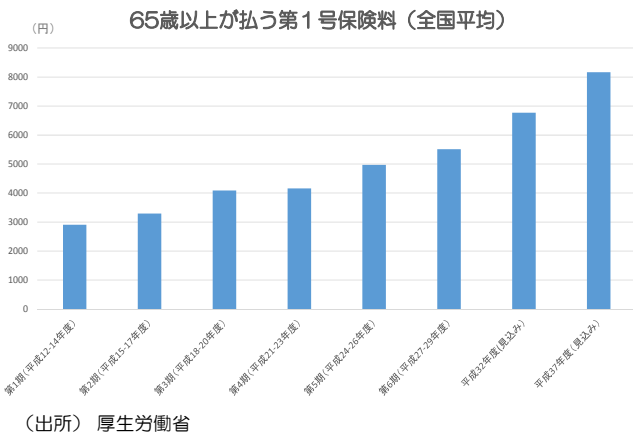
確かに、国民年金の保険料は全国どこでも一律。これは国が一括して管理しているからです。一方、介護保険の保険者は市町村です。中には幾つかの市町村が集まって広域連合をつくっているところもありますが、以下では市町村とします。介護保険の運営主体は市町村（厚生労働省は「地域保険」と呼んでいます）ですから、市町村によって保険料も違うのです。実は、自営業者や会社を引退した人などが加入している国民健康保険の保険料も市町村です。ですから、国民健康保険の保険料も、市町村によって大きく異なります。

介護保険料は3年に1回改定されます。これは市町村が3年ごとに策定する「介護保険事業計画」に基づいています。この計画の中で、市町村は向こう3年間にどれぐらいの介護サービスが使われるのかを予想した上で、保険財政からの支出（保険給付費）の見込み額を計算します。つまり、それぞれの市町村の中で介護サービスの利用が多ければ多いほど、介護保険料も高くなるというわけです。

2015～2017年度（第6期）の第1号被保険者（65歳以上）の介護保険料基準額（月額・加重平均）は5514円です。その前の2012～2014年度（第5期）は4972円ですから10.9%の上昇です。

しかしよく見ると、地域差が非常に大きいことが分かります。第6期で最も安い自治体は鹿児島県三島村で月額換算2800円です。これに対し、最も高いのは奈良県天川村で月額換算なんと8686円です。三島村の3.1倍になります。また、第5期から第6期にかけて全ての市町村で保険料が値上がりしたわけではありません。数は少ないものの、27の市町村（北海道西興部村や東京都荒川区など）ではむしろ引き下げられています。また、天川村の第5期の介護保険料は4849円で全国平均以下でしたが、今回は全国第2位の伸び率（79.1%増）を記録したため、トップになりました。

ちなみに、ここで「基準額」とわざわざ断っているのは、介護保険料は世帯や所得に応じて同じ市町村の中でも大きく変わるからです。実際には基準額の半分以下の場合や、逆に基準額の数倍を納めなければならないケースもあります。介護保険料は、市町村の間だけでなく市町村の中でも大きな差があるのです。



第1号被保険者の基準額は、介護保険導入直後の第1期（2000～2002年度）は平均2911円でしたが、その後上昇し続けています。厚労省によると、2025年度には8165円と見込まれ、今の1.6倍になります。

以上は第1号被保険者、つまり65歳以上の介護保険料の説明です。第2号被保険者（40～64歳）の介護保険料は、日本全体の介護給付費の一定割合（現在は29%）を第2号被保険者数で割り、その一人当たり保険料額を基に、被保険者数に応じて各医療保険（企業健保、協会けんぽ、共済組合、国民健康保険など）に割り振ります。保険料はそれぞれの医療保険で計算方法が違うため、支払う保険料額も加入している医療保険ごとに異なります。

一市町村間でそんなに大きな格差があるとは知りませんでした。全国同一の保険料、少なくとも都道府県単位で同じ保険料にならないのでしょうか。

日本の介護保険制度は、後で説明するように、どうしたら介護サービスを使えるようになるか、どんな介護サービスが用意されているのか、自己負担はどれくらいかといった点では全国共通です。一方で、介護保険料は市町村ごとに決められ、実際にどんな介護サービスを使うのかはケアマネジャーと相談して決められます。このように、全国一律で集権的に決められている部分と、分権的に決められる部分が混在しているのが、日本の介護保険制度の特徴です。

介護保険料の違いは、それぞれの市町村の高齢化率を反映しています。言うまでもなく介護サービスの利用は、同じ都道府県の中でも高齢者が多いほど多くなり、必然的に保険料も高くなりがちです。そのために、十分かどうかは別として、市町村の間で介護保険財政をやりくりする調整交付金制度も設けられています。しかし単に高齢化率だけでなく、それぞれの市町村の介護政策も反映しています。つまり、全国一律に決められた制度の中で、地域の実情に応じた介護政策を行うという建前になっています。介護保険導入以前も、市町村が老人福祉・保健事業を担当していたという経緯もあります。

一介護保険を受給するには、どのような条件を満たす必要がありますか。

65歳になれば自動的に介護保険からサービスを受けられるというわけではありません。公的介護保険制度では、もし介護が必要な状況になれば市町村の認定を受け、介護が必要な度合い（要介護度）に応じて介護サービスを使うことができます。この「要介護認定」はコンピューターに基づいた1次判定と、保健医療福祉の学識経験者が行う2次判定によって判断されます。要介護状態と認定されれば、さらに介護サービスの必要度合いに応じ、要支援1と2、要介護1～5の合計7段階に分けられます。

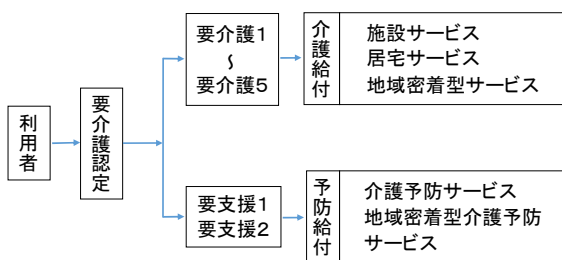
ここで重要な点が三つあります。第一に、要介護認定は、どれくらい介護サービスを必要とするかを判断するものであり、病気の重さと要介護度は必ずしも一致しません。第二に、要介護認定は、受けようとする人の健康や身体機能だけで判断し、所得や資産の多寡は関係ありません。第三に、要介護認定は、全国どこの市町村で受けても、結果は同じになるとされています。ただしこの点については、財政事情が厳しい市町村では要介護認定も厳しくなっている可能性を指摘する実証研究もあります。

一 給付の種類について教えてください。

要介護認定を受けると、その認定結果によって自己負担1割で使えるサービス（給付の種類）が決まります。まず、要支援1または2と認定された場合、介護予防ケアプランに基づいて「介護予防給付」を受けます。要支援1または2というのは、要介護状態になる恐れがあり、日常生活に支援が必要と判断されたケースになり、介護予防サービスと地域密着型介護予防サービスが用意されています。

次に、要介護1～5と認定された場合は、①施設サービス（特別養護老人ホームなど）のほか、ケアマネージャーが作成するケアプランに基づいて②居宅サービス（訪問介護など）、③地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護など）といった「介護給付」を受けられます。

介護給付の種類



（出所）厚生労働省

一 介護保険料は今年4月に改定されましたが、それによって保険料や給付内容はどう変わりましたか。

介護保険料は3年ごとに見直されます。既に説明したように、改定のたびに値上がりしており、これからも上昇し続けると予想されます。こうした保険料の見直しのほか、介護保険制度そのものの改正も実施されています。

導入から5年後の2005年改正では、介護予防や地域密着型サービスが追加されたほか、施設給付の見直し（食費・居住費は保険対象外にも）も行われました。2011年改正によって地域包括ケアが推進され、24時間対応の定期巡回・随時対応サービスなどが導入されました。2014年改正では、特別養護老人ホームの入所者を要介護3以上に重点化したり、一定所得以上の利用者の自己負担を2割に引き上げたりといった改正が行われました。

一 少子高齢化の進展に伴い、年金制度の維持は難しくなっています。一方、介護保険制度は持続可能なのでしょうか。将来の課題について教えてください。

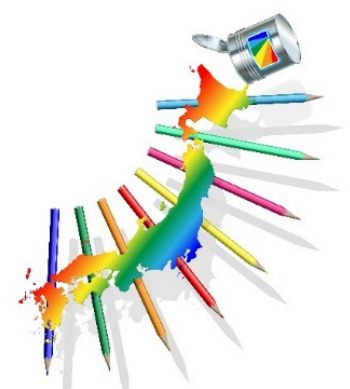
この点は非常に重要なポイントです。今後高齢化が進むと介護サービスの利用はますます増大すると見込まれています。厚労省によると、介護費用は2012年の約9兆円から、2025年には約20兆円に膨れ上がると推定されています。このため、制度改正のたびに介護サービスの利用の重点化・効率化、あるいは事実上の利用負担の引き上げが導入されてきました。

高齢者が増えるにつれ、介護費用の増大はある程度避けられないかもしれませんが。今後は認知症患者が急増するため、高齢者の数以上に介護費用が増えるという見方もあります。

ここで重要なのは、「高齢化の進展＝介護必要の増加」と短絡的に考えるのではなく、これまでの一つひとつの政策をデータでしっかりと検証し、介護サービスの供給主体や要介護者をしっかりと動機付けし、それと整合的な形で政策を再構築していくことです。

例えば、厚労省が力を入れている介護予防にしても、「現実のデータを見るとほとんど効果を期待できない」という研究があります。また、同省が推進している地域包括ケアについても、「地域の実情に全く合っていない」という批判もあります。問題なのは、政策効果が十分確認されていない施策が紛れ込んでいる可能性は否定できないということです。

逆に言えば、きちんとしたデータと標準的な分析手法により、これまでの政策を実証していけば、制度を効率化できる余地が定量的に明らかになるということです。例えば施設介護では、要介護度が高いほど介護施設が受け取る報酬が多くなるために、要介護度を良くしよう（＝低下させよう）という動機が全く働きません。介護サービスの供給主体や要介護者、その家族がどう行動するかをデータでしっかりと検証した上で、それを基に介護保険制度全体をつくり直していく。それが今こそ求められているのではないのでしょうか。



© iStockphoto.com/RISB

営業マンとラグーマンを両立 ラグビーW杯出場を夢見る大川創太郎

環境・資源・エネルギー研究室 清水 洋岐

ラグビーの「トップリーグ」では国内外のプロ契約選手が脚光を浴びる一方で、所属企業の仕事とプレーを両立させている社会人選手も少なくない。今回、リコーブラックラムズの巨漢FWとして活躍中の大川創太郎（23）の日常生活に密着取材し、社会人選手の「素顔」を紹介する。

2020年東京五輪まであと5年。実はその1年前に、この日本で初めて開催される世界的なイベントをご存知だろうか。そう、4年に1度行われるラグビーW杯。「ラグビー世界一」を目指し、国と地域が威信を懸けて戦う。五輪、サッカーW杯に次ぐ、世界三大スポーツイベントの一つである。大川は営業マンとラグーマンを両方こなしながら、「日本代表→W杯出場」という夢の実現を目指している。



（提供）リコーブラックラムズ

大川は熊本市で生まれ、水前寺公園で遊びながらスクスクと成長した。ラグーマンだった父の影響を受け、中学入学と同時にラグビーを始める。ところが、進学した高校にはラグビー部がなく、父と二人で黙々と練習を続けた。まるで漫画「巨人の星」の星一徹・飛雄馬のように…。そして、国立大学では最強のラグビー部を擁する筑波大学を目指し、一日6時間の猛勉強を続けた。

見事合格し、筑波大3年生の時、全国大学選手権で準優勝。2014年リコーに入社し、ブラックラムズの門をたたく。一年目からFWでレギュラーの座を獲得。新人にもかかわらず、公式戦全16試合に出場し、早くもチームに欠かせない主力の一人になった。

リコーのチームコンセプトは1953年の創部以来、「良きラグーマンである前に、良き社会人たれ」一。つまり、まず仕事で一流、その上で一流の選手を目指すという伝統である。

朝5時から練習 ベンチプレス160kgが目標

今年4月下旬、夜明け前の午前5時。東京・世田谷の閑静な住宅街では、ブラックラムズの選手たちが寮からグラウンドに出て、体が目を覚ますよう自らに「喝」を入れていた。

2015～16年度シーズンはまだ始まったばかり。だから、早朝練習には楕円形のボールは登場しない。グローブを着けたボクササイズやストレッチなど、コンディション作りのメニューが中心になる。大川は身長181cm、体重105kg。ヘビー級ボクサー並みの体格から、重いパンチを繰り出す。「シュッ、シュッ」という空気を斬る音が、グラウンドに吸い込まれていく。



その次は、大川が最も重視している筋力トレーニング。トレーニングルームは大男たちの熱気であふれ返り、まさにサウナ状態。「外国人選手に負けない体力」を今季の目標に掲げ、ベンチプレス160kgを目指している（成人男子の平均は40kg台）。



この早朝練習は6時半に終了。大川はいったん寮に戻って野菜たっぷりの朝食をとり、満員電車に乗り込んで9時前に東京・港区の職場に着いた。彼は大手金融機関にOA機器を販売する営業部隊に所属する。午前中は顧客からのメールに返信したり、会議で販売戦略を提案したり…。昼食を済ますと、顧客への訪問時刻が迫っていた。急いで地下鉄に乗り込み、オフィス街に向かう。



このジェイアイ傷害火災保険様は、大川にとって最も大切なお客様だという。御担当の鈴木優子さんが現れると、大川は早速、商談開始。この日は、活用いただいているプリンターの保守契約を更新してもらわなければ…。心臓がドキドキしたが、心を込めて説明した甲斐があり、鈴木さんは納得してくれた。

すかさず大川はこの日第二の任務に移り、オフィス業務で困っていることなどを聴きだす。次の訪問時に生産性の改善策を提案し、新たなビジネスチャンスにしようという戦略のようだ。

大川は背筋を伸ばし、顧客の目をしっかり見つめる。この会社では「真っ直ぐな人柄」と評され、昨シーズンは秩父宮ラグビー場まで足を運び、熱い声援を送ってくれた大川ファンも少なくない。

野球やサッカーに比べると日本のラグビーはマイナースポーツ。大川は「一度観ていただければ、とても面白いスポーツです。是非ラグビー場に足を運んでいただき、肉弾戦の迫力や熱い空気をナマで体感してください」と顧客に訴えている。



夕方5時、大川は職場に戻るや否や、上司にこの日の“戦果”を報告。5時半に退社し、普通なら仲間の待つ練習グラウンドに向かう（この日は上司や同僚とともに所属部署の歓送迎会に参加）。

夜練習は7時に始まり、2時間ぐらい汗を流す。メニューはセットプレー、試合形式、筋力トレーニングなど様々である。夜10時半、床に着くと瞬く間に熟睡…。ようやく大川の長い一日が終わる。夢の中では一足先に、W杯の晴れ舞台上でスクラムを組んでいるはずだ。

(写真) 筆者
RICOH GR DIGITAL

ジャパンラグビー トップリーグ 2015-16大会 リコーブラックラムズ 試合日程

プレシーズンリーグ

| 節 | 日時 | | 対戦カード | 開催県 | 会場 |
|---|-------|---------|-------------|-----|-----|
| 1 | 9月5日 | 土 15:05 | 東芝プレイブルバス | 岩手 | 盛岡南 |
| 2 | 9月12日 | 土 17:00 | 豊田自動織機シャトルズ | 三重 | 鈴鹿 |
| 3 | 9月18日 | 金 19:30 | キヤノンイーグルス | 東京 | 秩父宮 |

レギュラーシーズン

| 節 | 日時 | | 対戦カード | 開催県 | 会場 |
|---|--------|---------|-------------------------|-----|-------|
| 1 | 11月14日 | 土 11:40 | NTTコミュニケーションズシャイニングアークス | 東京 | 秩父宮 |
| 2 | 11月21日 | 土 11:40 | Honda HEAT | 山口 | 維新百年陸 |
| 3 | 11月29日 | 日 13:00 | パナソニック ワイルドナイツ | 群馬 | 太田陸 |
| 4 | 12月5日 | 土 12:00 | 東芝プレイブルバス | 埼玉 | 熊谷 |
| 5 | 12月12日 | 土 14:05 | 近鉄ライナーズ | 大阪 | 花園 |
| 6 | 12月20日 | 日 13:00 | サントリーサンゴリアス | 山梨 | 中銀スタ |
| 7 | 12月26日 | 土 11:40 | クボタスピアーズ | 大阪 | キンチョウ |

トップリーグ参加チーム

| グループA | グループB |
|-------------------------|-----------------|
| パナソニックワイルドナイツ | ヤマハ発動機ジュビロ |
| 東芝プレイブルバス | 神戸製鋼コベルコスティーラーズ |
| サントリーサンゴリアス | トヨタ自動車ヴェルブリッツ |
| NTTコミュニケーションズシャイニングアークス | キヤノンイーグルス |
| リコーブラックラムズ | NECグリーンロケッツ |
| 近鉄ライナーズ | NTTドコモレッドハリケーンズ |
| クボタスピアーズ | コカ・コーラレッドスパークス |
| Honda HEAT | 豊田自動織機シャトルズ |

Black Rams
RICOH RUGBY FOOTBALL TEAM

<http://www.ricoh.com/ja/rugby/index.html>

まちの未来を創る「家」 RICOH Future House

経済研究室 研究員 倉浪 弘樹

東京・新宿から電車で50分。神奈川県中央にある海老名市では、駅前の開発事業が急ピッチで進んでいる。かつての田園風景は姿を消し、ららぽーと海老名（仮称）や高層マンションを中心とする新たな街に生まれ変わる。この一角にリコーは「未来の家」を創り、2015年夏にRICOH Future Houseとしてプレオープンする。



建設中のRICOH Future House
(写真) 筆者

海老名市に研究開発拠点をもちリコーグループは海老名駅西口土地区画整理組合の「まちづくり協議会」に参加し、駅前開発に携わってきた。その活動の一環として、「地域・まちと共に、未来に向けてビジネス協創する場」をコンセプトにしたRICOH Future House（4階建て）を開業する。1、2階が約720㎡、3、4階も約500㎡あり、いずれもバスケットボールのコート（420㎡）よりも広い。

1階：アウトブットカフェ

海老名市や周辺地域の住民の方、来街者の方が気軽に立ち寄り、くつろげるフロア。喫茶・食事スペースである「カフェレストラン」のほか、リコー製品を利用してコピーやポスター制作などができる「クリエイティブショップ」が併設される。

2階：フューチャースタジオ

地域住民や来街者が情報発信できるように、多目的レンタルスペースやラウンジを備えたフロア。セミナーやイベントを随時開催する。例えば、「子育て・教育」「食と農」「ビジネス・キャリア」などのテーマで企画され、地域住民の学びと交流の場として活用される。

3階：フューチャーラボ

「みらいのツクリテ」を育てる会員制のフロア。小中学生を対象にした科学と自由に触れ合える「ラーニングラウンジ」や、体験学習プログラムを開催する教室「サイエンスラボ」がある。

4階：フューチャーセンター

ビジネスマン向けのフロア。会員制のビジネスラウンジのほか、レンタルオフィスも。リコー製品を中心に最新のOA機器が利用できる。

このうち、3階のフューチャーラボはプレオープン前から地元で話題になっている。紹介記事がタウン誌に掲載されただけで、1カ月間に30件を超える問い合わせが寄せられた。「予想以上に住民の方々の関心が高く、手ごたえを感じている」（リコー UDセンター 副所長・中村英史）。

フューチャーラボで提供される体験学習プログラムは、社外パートナーとも連携する。日常生活の科学をテーマにして、日本科学未来館とは体験・実験を中心としたプログラムを共同開発。このほか、周辺の学校・教育機関との連携を進めている。

こうした産官学連携の学習プログラムを通じ、科学と子どもの距離をぐっと近づける。理科離れが叫ばれている中、RICOH Future House がその流れを変える“触媒”になるかもしれない。

RICOH Future Houseの詳細については
リコーHP：<http://jp.ricoh.com/ricohfuturehouse/>



© iStockphoto.com/RISB

コンパクトシティが地方を救う（第4回）

進化を続ける「ものづくり」 三条市（新潟県）／小田原市（神奈川県）

社会構造研究室 主席研究員

RICOH Quarterly HeadLine 編集長

中野 哲也

少子高齢化が加速し、財政事情も厳しさを増す中、地方行政の効率化は避けられない。各地の自治体がコンパクトシティ政策を推進・検討しているのもその一環である。ただし、それだけで地方が生き残れるわけではない。中心市街地を活性化しても、あるいは中心地と郊外の各拠点をそれぞれ効率化した上でネットワーク化しても、持続可能な産業がなければ都市は衰退してしまう。地方再生の主役はあくまで民の力であり、今回は伝統的な「ものづくり」を進化させることにより、生き残りを目指している三条市（新潟県）と小田原市（神奈川県）を訪ねた。

農閑期の鍛冶が「金物の街」に発展 三条市

新潟県の中央部に位置する三条市（人口約10.1万人）には、日本最長の信濃川のほか五十嵐川や刈谷田川が流れ、日本有数の稲作地帯をもたらした。半面、河川の氾濫で深刻な水害がたびたび起こり、農民は困窮していた。そこで江戸時代の代官が江戸から釘職人を招き、雪深い農閑期の副業として鍛冶を導入する。河川を活用した水運により、鍛冶関連の商業や物流も発展。三条は包丁や鋏（はさみ）など「金物の街」として繁栄し、今も真摯（しんし）な「ものづくり」が産業の大黒柱である。



創業1926年（大正15年）の諏訪田製作所を訪ね、匠（たくみ）の技を取材した。切れ味抜群の「高級爪切り」を主力に、「SUWADA」ブランドは海外でも卓越した評価を受ける。その秘密は「切れる」を極限まで追求する経営哲学にあった。工場の中では、84歳から20代まで老若男女の職人集団が黙々と作業を続け、その背中は独特のオーラを発する。三条鍛冶の伝統、あるいは職人の意地がにじみ出る。



仕入れた鋼材を1000℃以上で熱し、400トンという強大な圧力で叩き上げると、ようやく爪切りの刃に最適な材料に生まれ変わる。苦勞して鍛造したのに、その七割を捨ててしまうほど、職人は材質にこだわり続けてきた。鍛造された材料は職人の手で何度も何度も削られ、50もの工程を経て一つの爪切りが出来上がる。

その命である刃は、極薄く慎重に仕上げたもの。「100分の1ミリの半分」という作業精度を実現できる手段は、熟練職人の「目」しかない。完成した爪切りはピカピカに磨き上げられ、最高級6万4800円の商品は「爪切りのロールスロイス」と呼ばれる。もはや「道具」の域を超え、「芸術品」の香りが漂う。

しかし、爪切り業界の頂点に立つまで、諏訪田製作所は茨（いばら）の道を歩んできた。三代目の小林知行社長（52）が父から引き継いだ20年前、日本経済のバブルは崩壊し、同社も多額の借金を背負っていた。何より経営が近代化しておらず、例えば同社には商品の希望小売価格の決定権がなく、全て問屋の言いなりだったという。

小林さんは「利益を確保できなければ、会社に明日はない」と危機感を募らせ、問屋の頭越しに小売店や最終ユーザーを一軒一軒歩いて回った。「いくらなら買ってくれますか」と尋ね、聞いた価格で売るようにしたのである。一方、問屋は面白くないが、確実に売れるから受け入れざるを得ない。同社は問屋を通すやり方を維持しながらも、次第に価格決定権を握れるようになった。



コンパクトシティ

100円ショップで爪切りが買える時代、小林さんは逆転の発想で市場創造に取り組み、それに社運を賭けた。一つ1万円の爪切りを開発・投入したのである。その切れ味はプロから称賛され、国内のネイルサロンでは圧倒的なシェアを誇る。欧州でも評判になり、今や売上高のうち海外向けが2割に迫る。実は、先に紹介した6万4800円の「ロールスロイス」は一つ売れると30万円もの赤字なのだが、小林さんは「フラッグシップがあるからこそ、職人がヤル気を維持してくれる」と意に介さない。



諏訪田製作所の小林知行社長

小林さんは職人も含め社員50人が会社の決算書を読むようにしており、「会社がどうやって利益を上げ、そのうち幾らが給料に回っているか」を叩き込み、一人当たり1000万円を超える売上高を確保している。その賃金制度は「上手な人が高く、下手な人は安い」という極めてシンプルなもの。小林さんの経営手法には、トヨタ自動車など巨大企業も引きつけられ、年間2万人が視察にやって来る。

スノーピークの本社敷地は東京ドーム4個分

三条市街から車で40分ほど進んでいくと、草木以外何も無い山間に突然、瀟洒（しょうしゃ）な建物が見えた。キャンプ用を中心にアウトドア製品全般の開発・生産・販売を展開している、スノーピークの本社である。東京ドーム約4個分という大草原には、本社や工場、直営店、広大なキャンプ場が設けられている。スノーピークのブランドを愛して止まないファンが全国から集まり、大自然の中でキャンプを満喫する。

同社は、三条市で金物問屋として創業。登山家だった創業者はアウトドア製品を手掛けるようになり、オートキャンプブームを牽引した。その後も「焚き火台」などのヒット商品を生み出し、アパレル製品にも進出しながら、ブランド力の向上に努めている。三条で本社機能を維持しながら、東京と大阪に営業所を設けて取扱店を全国拡大中。海外展開にも注力し、米国や韓国、台湾に拠点を設置。2014年12月には東証マザーズ上場を果たした。



スノーピークの価格設定はライバル社に比べて高めともいわれるが、総務課マネージャーの大島秀俊さんは「当社のモットーは『感動品質』の追求であり、その反対が『失望品質』になる。付加価値が高ければ、値段が高くてもお客様は購入してくださいと信じている」と話す。強風で簡単に吹き飛ばされてしまう安いテントでは、顧客のニーズを満たせないというわけだ。

「金物の街」という地の利もフルに活用している。キャンプでの調理に重宝なダッチオーブンは、地元の鋳物成型技術を導入した「極薄鋳鉄」シリーズを開発。薄くて軽くても衝撃に強い。このほか、三条市内の業者に生産を委託するなど、スノーピークは地元との協調を重視している。



「カレーラーメン」が鍛冶職人の活力源

三条鍛冶は「カレーラーメン」というユニークな食文化も育んだ。70年余の歴史を誇り、今も市内では約70店舗が提供しており、昨今の粗製乱造のB級グルメとは一線を画す。チキン、ビーフ、カツ、激辛、さっぱり、汁無し、フルーツ、トマト、黒（竹炭）…。味や素材、スタイルは店によって様々である。この中で創業以来50年、「昭和の味」を守り続ける味方屋（あじかたや）で店主の佐藤博保さん（76）を取材した。

それにしても、なぜ三条でカレーラーメンなのか。以下のような説が有力らしい。鍛冶職人は汗だくの作業を強いられ、塩分補給を欠かせない。ところが、早朝から深夜まで働き詰めだったから、外食する時間はない。このため、塩分とカロリーを十分取れるカレーラーメンが考案され、職人が出前で注文するようになった…



佐藤さんは父から店を引き継いだ半世紀前、カレーラーメンを始めた。「普通のラーメンが一杯30～40円の時代、カレーラーメンは10円増し。鍛冶屋にとってはささやかな贅沢だったんだよ。辛いから夏でも食欲が湧くし、逆に雪深い冬は体が温まるしね。毎日毎日、出前の連続で本当に忙しかった…」

佐藤さんのカレーラーメンは正統派といえるだろう。調理場で秘伝のレシピを教えてもらおうと、ラーメンスープは鰹節やニンニク、タマネギ、長ネギなど数十種類の食材で出汁をとっていた。一方、カレーソースは業務用ルーを使うが、大量のタマネギで甘みを出した上で、豚肉、ニンジン、ジャガイモを加える。隠し味はトマトケチャップと日本酒である。最初の一口は甘く感じるが、やがて「ピリッ」という辛さが口の中に広がる。



カレーラーメン一筋50年の佐藤博保さん



帰り際、「いつかまた寄らせてもらいます」と言うと、佐藤さんは「息子二人が東京と仙台で仕事しているんだ。店は今年いっぱい閉めるかも…」一。「昭和の味」がまた一つ消えてしまうのか…

「脱下請け」中小企業に価格決定力を！ 國定市長

三条市の國定勇人（くにさだ・いさと）市長は42歳の若きリーダーである。郵政省キャリア官僚だったが、三条市役所出向時代にもものづくりと大自然が共存する街に魅せられ、2006年の市長選に挑んだ。34歳で当選して全国最年少市長（当時）となり、既に3期目。家族とともに移り住み、豊かな自然とカレーラーメンをこよなく愛する。

三条市は元々、76km²の面積に約8.4万人が暮らし、ものづくりを中心にコンパクトシティの性格が強かった。ところが、平成の大合併で旧下田町などと一緒にになった結果、市域が432km²まで一気に拡大した。人口は10万人程度にしか増えていないから、行政は効率性の面で課題を抱える。國定市長は「ものづくりのエリア、高齢化が加速する“まちなか”、自然に恵まれた過疎化地域をそれぞれ維持する。あえて『多極分散型社会の堅持』を打ちだし、それぞれの極がコンパクトになるよう目指していけば、その結果としてネットワーク型コンパクトシティの概念に近づけよう」一



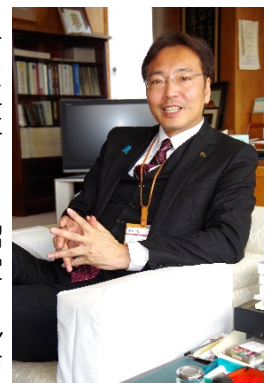
2008年のリーマン・ショック後、國定市長は三条の大黒柱であるものづくりに大きな疑問を抱いた。「自動車産業が冷え込むと、金属加工業を中心とするこの街の生産もパタッとストップした」からである。実はこれまで、地元経営者は「川上（＝取引先）は多種多様。一つが倒れてもほかが生きているから、中小企業は総体として地盤沈下することはない」と口を揃えていた。しかし、リーマン・ショックはそれが“都市伝説”にすぎないことを証明し、市長の期待は「見事なまでに裏切られた」一

國定市長は「自動車産業への依存度を下げて取引先を多様化し、同時に下請け構造からの脱却を実現しない限り、ものづくりに明日はない」と判断し、中小企業の再生を急いだ。とりわけ、諏訪田製作所が自力で実現したような「価格決定力」の確保である。「親元から『景気が悪くて…』『為替が円高だから…』と言われてしまい、中小企業は値切り交渉で負けの連続だった」一

例えば、包丁メーカーが「屑のこぼれないパン切包丁」を開発するため、三条市は同社が受ける民間コンサルティングの費用を財政支援。その代わりに、対象企業の財務状況や在庫管理などをオープンにし、その改善プロセスや成果を他の業者が共有できるようにした。「『一番星』を目指す企業はリスクをとっているのだから、その挑戦には正々堂々と公金を使う」一

ものづくりが抱えている閉鎖性や後継者不足といった問題を改善するため、國定市長は地元企業の製造現場を一般公開する「工場の祭典」を開くほか、子供向け職業訓練テーマパークを運営するキッズニアと連携して市内小中学生にもものづくりを体験させている。「日本の理系は研究主体であり、技能を体系化して実学に昇華させている大学がない」と考え、「ものづくり大学」の創設も視野に入れる。

「総理大臣ではないから、『この街さえ生き残っていければよい』と割り切れることが、市長や地方行政という仕事の良さ。それぞれの市町村がこういう考え方をすれば、日本全体として前進できる」一。部分最適は全体最悪を招くと考えがちだが、課題設定と政策手段が妥当であれば、全体最適を実現できるかもしれない。閉塞感が強まる一方の政治や巨大組織の現状を打開する一つのヒントを、ものづくりの街で見つけることができた。



三条市の國定勇人市長

（写真）筆者
PENTAX K-50

コンパクトシティ

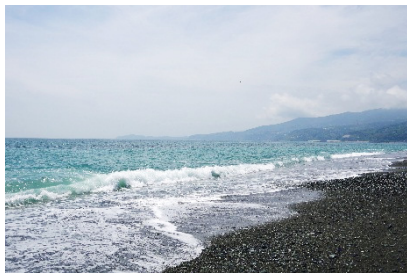
再生可能エネルギーの“聖地” 小田原市



コンパクトシティに似た概念は、古くからこの国に存在していた。例えば、戦国～江戸時代の「城下町」である。領主の居城を中心とする防衛機能のほか、エリアごとに行政や商工業の施設が集まり、小さくても機能的で個性豊かな都市が形成されていた。その幾つかは

今も当時の街並みを受け継いでおり、神奈川県小田原市（人口約19.4万人）もその一つ。武士や町人が活躍した時代の香りが漂い、歩いているだけで楽しくなる街である。

神奈川県西部に位置する小田原市は戦国時代、北条氏の城下町として繁栄した。江戸から東海道を西進すると、箱根越え直前の宿場町となり、江戸時代に重要性が増す。今もJR東海道新幹線や東海道本線、小田急電鉄、箱根登山鉄道、伊豆箱根鉄道が



乗り入れる交通の要衝である。山と海の幸に恵まれ、蒲鉾（かまぼこ）のほか、干物、梅干し、提灯（ちょうちん）、寄木細工など競争力の高い名産品も少なくない。

この街のシンボルは小田原城の天守閣である。北条時代、「難攻不落」と恐れられ、上杉謙信や武田信玄の軍勢を跳ね返した名城。現在の天守閣は1960年に復元されたものだが、その優美な姿は武士の誇りを映し出している。また、市内の見るところによって、あるいは時刻によって受ける印象が変わり、城マニアでなくても何度でも見たくなる天守閣である。



創業150年の鈴廣「老舗にあって老舗にあらず」

今年で創業150年の鈴廣かまぼこは、小田原を代表する蒲鉾の老舗（しにせ）。市内風祭に「かまぼこの里」を建設。本社、工場のほか、手づくり体験コーナーを併設するかまぼこ博物館、古民家風のレストラン、ありとあらゆる蒲鉾を扱う売店などが集積する。蒲鉾のテーマパークのような趣であり、取材当日は平日にもかかわらず、観光客が朝から詰め掛けていた。

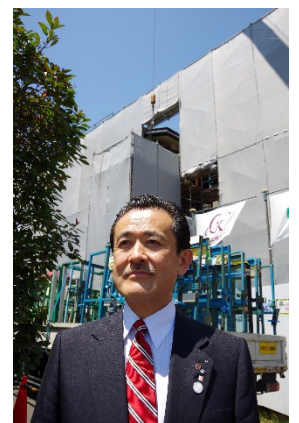
「老舗にあって、老舗にあらず」一。これは鈴廣の揺るぎない社是である。同社の代表取締役副社長で小田原商工会議所会頭も務める鈴木悌介（すすき・ていすけ）氏にその意味を解説していただいた。

（1）150年前も今日も変わらないのは、鈴廣のかまぼこを召し上がりたくて、お金をくださるお客様がいらっしゃるということ。お客様のいない商いは存在しないし、お客様や世の中の役に立つからこそ商いは存在を許される。

（2）「老舗にあって」=どんなに時代が変わっても、商売には変えてはいけないものがあり、頑固に守り抜いていく。それはお客様の真正面を向いて仕事をする姿勢である。

（3）「老舗にあらず」=その一方で、勇気をもって変えなくてはならないものもある。お客様の嗜好や技術革新、自然環境、原料事情などの変化を見極め、仕事のやり方はどんどん変えていく。変えていかないと、本来守るべきものを守れない。

（4）「老舗にあって」と「老舗にあらず」は50%ずつバランスを取るのではなく、両方とも欲張りに100%を目指して商売する。



鈴廣の新社屋（建設中）と鈴木悌介代表取締役副社長



世の中の大半の企業が「顧客志向」を標榜しているが、実際には供給側の論理が優先してしまい、掛け声倒れに終わっているケースも多々ある。しかし、鈴廣の社是は蒲鉾一筋で150年の歴史という結果を出しており、説得力がある。しかも、「お客様第一」という究極の目標を実現するために、古いやり方に固執することなく、常に新しいものを採り入れている。伝統を守りたいからこそ、「創造的破壊」に絶えず挑んできたのだろう。

例えば、鈴廣は現在、蒲鉾に保存料や化学調味料を一切使用していない。工場内や従業員の衛生管理を徹底することにより、保存料を使う他社製品に劣らない日持ちを実現できたからである。鈴木氏は「食う」という行為を、「人間の身勝手な理由で生き物の命を使うこと」と定義する。だから、「日本人は食事の前に『（あなたの命を）いただきます』と感謝の言葉を発する」一

また、鈴木氏にとって食品産業とは、「生き物の命をお客様に移し替えること」である。このため、「命を捻じ曲げたり、歪（いびつ）にしたりしてはいけない」一。そう考えると、確かに保存料などは使えなくなってしまう。

さらに、鈴木氏は「食」という漢字を「人」を「良」くすると分解し、「食べ物を口にすると人が健康になってもらい、幸せになってもらうことこそ食品産業の使命」と確信している。出張以外は必ず毎日20~30種類の自社製品を味見し、鈴木氏は微妙な変化がないか確認する。「味づくりは毎日が勝負です」一

今夏竣工の新本社 エネルギー消費量を54%削減

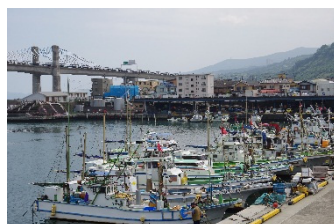
鈴木氏独自の経営哲学は食にとどまらず、対象をエネルギーの領域にまで拡大する。東日本大震災と東京電力福島第1原発事故を受け、同氏は日本のエネルギー政策について「これはヤバイ」と痛感した。また、計画停電によって鈴廣も15%節電が義務付けられ、蒲鉾というナマモノを生産する同社に死活問題が発生する。

しかし、鈴木氏は危機を好機ととらえ、「原発に依存しなくてよい水準まで節電しよう」と決断。10の製造ライン（5日操業、2日休業）を7つに減らし、週7日間フル稼働させた。それにより生産量を維持しながら、ピーク時の電力使用量を引き下げたのである。また、レストランの空調設備には井戸水と地中熱を使うシステムを導入。真夏に35℃になる外気を井戸水の中に通し、25℃程度にまで冷やす。逆に、冬は外気を地中熱で温める。結果、空調の負荷を大幅に軽減することができた。

こうした企業努力により、鈴廣は電力の原発依存度（東日本大震災前）に匹敵する20~25%の節電を実現した。今年8月竣工予定の新本社ビルでは井戸水の活用に加え、断熱壁や二重窓ガラス、自然光の活用など節電対策を一層強化し、エネルギー消費量の54%削減を目指している。

日本商工会議所青年部会長を歴任した鈴木氏は、全国の中小企業経営者をつなぐネットワークを築いている。それを利用しながら2012年3月、再生可能エネルギーによる地域のエネルギー自給体制の確立などを目指す「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」（エネ経会議）を旗揚げし、代表理事に就任した。地元の小田原市では「ほうとくエネルギー」という発電会社を設立。メガソーラーのほか、小学校の屋根などを借りてソーラー発電を始めている。

「エネ経会議」の会員は350人に増え、「ほうとく」のような地産型の発電会社も全国で60を数える。ただし、鈴木氏は「原発は不要。だが、単なる反対運動はしない」と語る。危機に対して脆弱な中央集権型ではなく、分散型のエネルギー社会の実現が目標なのである。取材中、鈴木氏の口は”機関銃”になり、アイデアを次々に発していた。だが、それを実現してしまう行動力こそが最強の武器であり、最大の魅力である。創造的破壊によって「老舗にあって、老舗にあらず」という社是をしっかりと守りながら、鈴廣は創業200年に向けて歩み出した。



(写真) 筆者
PENTAX
K-50

トリプル被災地を駆けめぐるスーパー医師

「〇〇さん、きょうは4月23日です。桜の花はもう終わりですが、これから鯉のぼりの季節になりますね」一。大きな声でゆっくりと声を掛けているのは、福島県にある南相馬市立総合病院の小鷹昌明（おだか・まさあき=47）医師。ベッドの上の女性は言葉を発しないが、視線を真っ直ぐにして先生の顔をじっと見つめる。

この女性は60代後半。パーキンソン病を患い、寝たきり生活が続いている。脳内ドーパミン（神経伝達物質）の減少によって発症するが、その原因は現代医学でも分からない。この家では娘が働きながら難病の母の介護を担い、老いた父の面倒もみている。高齢化社会で急増中の光景だが、一点だけ他の街とは違う。巨大地震、巨大津波、原発事故に見舞われた「トリプル被災地」なのである。

埼玉県出身の小鷹氏は獨協医科大学卒業後、同大学病院で神経内科医を務めていた。准教授まで順調に昇進したが、「管理職である教授を目指すことに意味があるのだろうか…」と思い悩む。2011年3月11日の東日本大震災の後、南相馬市など福島県内を視察し、マンパワーが決定的に不足している被災地の医療現場を目の当たりにする。

決断に時間はかからなかった。大学病院を辞めて南相馬市へ移り、翌年4月に市立総合病院で診療を始めた。東京電力福島第1原発の北23キロに位置する「原発が一番近い病院」である。小鷹氏は「最初は1年ぐらいのつもりだったけど…」と苦笑するが、今や南相馬で抜群の行動力を発揮し、21世紀の「赤ひげ先生」として市民から愛されている。

人口6.3万人の南相馬市内でパーキンソン病患者は80人に上るといふ。自宅で父や母、夫や妻の介護をしながら、病院に連れて行く家族の労力は並大抵でない。そこで小鷹氏は超多忙な病院診療の合間を縫い、毎週木曜日に往診を始めた。使っている電気自動車は、小鷹氏が面識もない日産自動車のカルロス・ゴーン最高経営責任者（CEO）に直訴し、提供してもらったという。

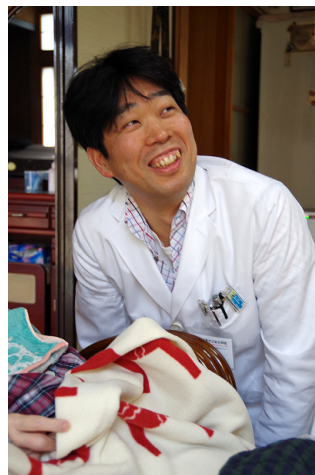
元船乗りの男性は「南氷洋まで出かけたし、スエズ運河は何度も航行したんだ」一。家を空けてばかりだったが、今は70歳を過ぎたパーキンソン病の妻の介護に専念する。小鷹氏から「罪滅ぼしなんですよね」と言われると、男性は照れくさそうに下を向いた。往診を受ける家庭は介護と震災復興を両立させ、放射能という「見えない敵」とも闘う。ヘルペス脳炎を患う妻の介護に従事する男性は「家内を病院に連れて行けば半日仕事になる。先生が往診してくれるから、私の負担は80%も減った」一

患者の家族は二週間に一度の往診を待ちわびており、先生が到着すると近況を一生懸命に報告する。小鷹氏の勧めによってパーキンソン病の妻を病院に預け、13年間に及ぶ介護生活で初めて温泉に行ったという男性はこう話した。「痰（たん）が喉（のど）に引っかかりはしないかと、一日24時間家内から目を離せない。温泉に浸かって本当に久しぶりにゆっくりできた」一

小鷹氏の活動は医療分野にとどまらない。大震災後、中高年の男性が引きこもり、アルコール依存症に陥る姿を見て、HOHP（ホープ=引きこもり お父さん 引き戻せ プロジェクト）を立ち上げた。「男の木工教室」や「男の料理教室」などを小鷹氏がプロデュースし、お父さんたちに生きがいを見つけてもらい、自信を回復させようというわけだ。

小鷹氏は、千年以上の歴史を持つ伝統行事「相馬野馬追（そうまのまおい）」に参加しようと決意し、乗馬を一から習得。昨夏、甲冑（かっちゅう）に身を固めて騎馬武者デビューを果たした。休日を返上し寝食を忘れて地域に溶け込もうとする姿を、市民がリスペクトしないわけない。今や、地元経済界から推されて南相馬市物産振興会の会長でもある。

名刺には「エッセイスト」の肩書きもあり、南相馬から情報や洞察を精力的に発信する。今年4月、精神科医の香山リカ氏との往復書簡をまとめて刊行した（「ドクター小鷹、どうして南相馬に行ったんですか？」七つ森書館）。スーパーマンのような活躍だが、気負ったところが全くない。「元々の街の文化を活かしながら、地元の人と一緒に楽しんでいるだけです」一。このさわやかな笑顔が、困難に立ち向かう市民に勇気を与える。



（写真）筆者
PENTAX K-50

RICOH Quarterly HeadLine Vol.8 2015 夏

発行日 2015年7月1日
発行人 稲葉 延雄
編集長 中野 哲也
編集部 竹内 典子 平林 佑太
発行所 リコー経済社会研究所
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5
丸の内北口ビルディング20F
ホームページアドレス
<http://jp.ricoh.com/RISB/>

本誌記事・写真の無断転載を禁じます。

RICOH Quarterly HeadLineへのご意見やご提案は、
risb@nts.ricoh.co.jp へお願いいたします。

RICOH
imagine. change.

フィールドカメラは、
革新の
高精細領域へ。

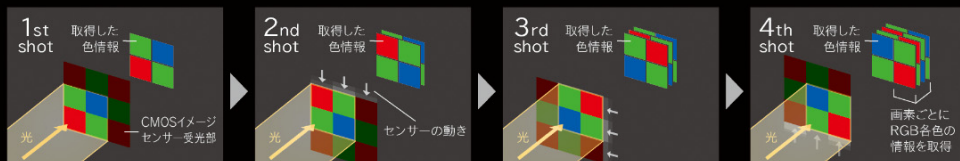
日経ビジネス 2014年11月7日号
2014年アフターサービス満足度ランキング
デジタルカメラ部門 PENTAX 1位



PENTAX K-3 II Debut

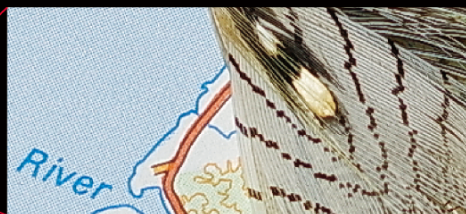
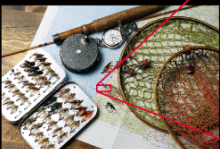
リアル・レゾリューション・システム NEW | 静物を超高精細に描き出す、先進の解像技術

イメージセンサーユニットを1画素ずつ移動させ4回撮影し、1画素ごとにRGB各色の情報をすべて取得。1枚の画像に合成することで、超高精細な画像を生成します。

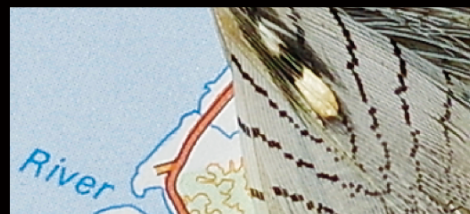


※撮影時は三脚などでしっかり固定してください。 ※ドライブモードのセルフタイマー/リモコン/ミラーアップ撮影を利用すると効果的です。
※被写体が動いたりカメラぶれが起こると効果が得られない場合があります。

●記載の内容および図は、リアル・レゾリューション・システムの仕組みと効果を表したイメージです。



リアル・レゾリューション・システム:ONで撮影 羽根の質感や印刷物のドットまで高精細に描写



リアル・レゾリューション・システム:OFFで撮影(通常撮影)

GPS内蔵 NEW | 撮影画像に緯度・経度・高度・方位などの情報を記録可能。方位を画像モニター上で表示する電子コンパスや移動の軌跡が記録できるGPSログ、手ぶれ補正機構SRとの連動で、簡易的な天体追尾撮影が可能なアストロトレーサーなどの機能が使用できます。

【その他の主な特長】 ■新高速AFアルゴリズム搭載 ■最高ISO感度 51200 ■最高約8.3コマの高速連続撮影 ■視野率約100%光学ファインダー ■ローバセレクトター ■最高4.5段の補正効果と流し撮りにも対応した手ぶれ補正機構SR ■約8.6万画素RGBセンサー ■ペンタックスリアルタイムシーン解析システム ■防塵・防滴・耐寒構造

【商品ラインナップ】 PENTAX K-3II ボディキット/PENTAX K-3II 18-135WR レンズキット/PENTAX K-3II 16-85WR レンズキット … オープン価格